

新門司沖 土質調査のお知らせ

発注者：九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所 新門司出張所 TEL 093-481-0763
 施工者：日本ジタン株式会社 TEL 093-541-1090
 管理技術者 田中 雅史 携帯電話090-8660-6505

下記のとおり、新門司沖にて土質調査を実施しますので、
付近を航行される船舶は十分注意してください。

1. 実施期間

(自) 平成 25 年 12 月 5 日
 (至) 平成 26 年 3 月 20 日 (予備日を含む)

工種	12月		1月		2月		3月		備考
	10	20	10	20	10	20	10	20	
計画・準備	■								
簡易磁気探査	■								100㎡×4箇所 = 400㎡
台船組立・解体	■								
台船曳航	■								
ボーリングNo.1	■								削孔長 = 21.5m
ボーリングNo.2			■						削孔長 = 83.0m
ボーリングNo.3			■						削孔長 = 83.0m
ボーリングNo.4	■								削孔長 = 22.5m
予備日							■		

2. 作業区域

北九州市小倉南区空港北町地先
 福岡県京都郡苅田町空港南地先(位置図参照)

3. 作業方法

【簡易磁気探査】

ボーリング調査前に、土質調査を実施する 4 箇所においてポータブル磁気探知機を携帯した潜水士により、危険物の有無を探査します。(作業図-1 参照)

【海上ボーリング】

No. 1~4 の調査位置にスパット台船(最大 2 隻)を設置し、削孔・原位置試験を行います。(作業図-2 参照)

4. 標識

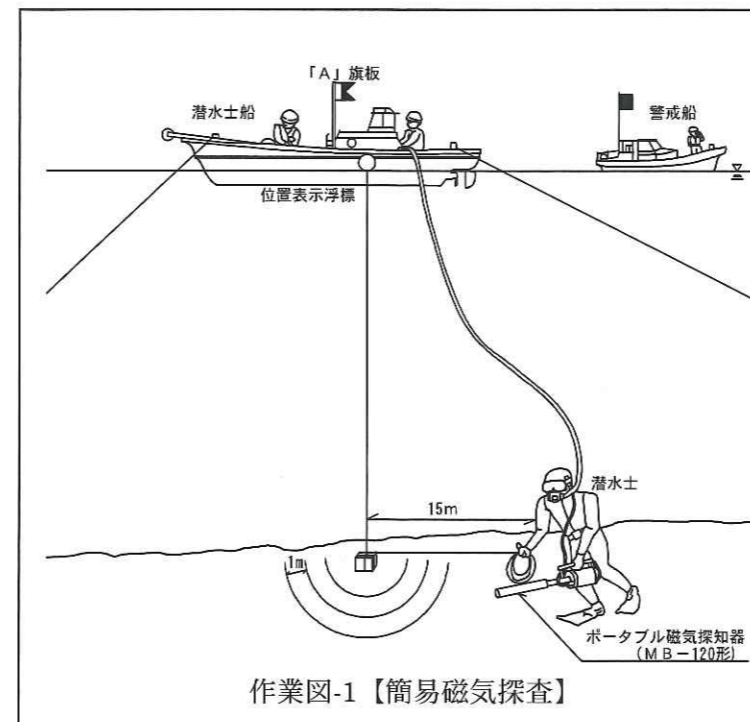
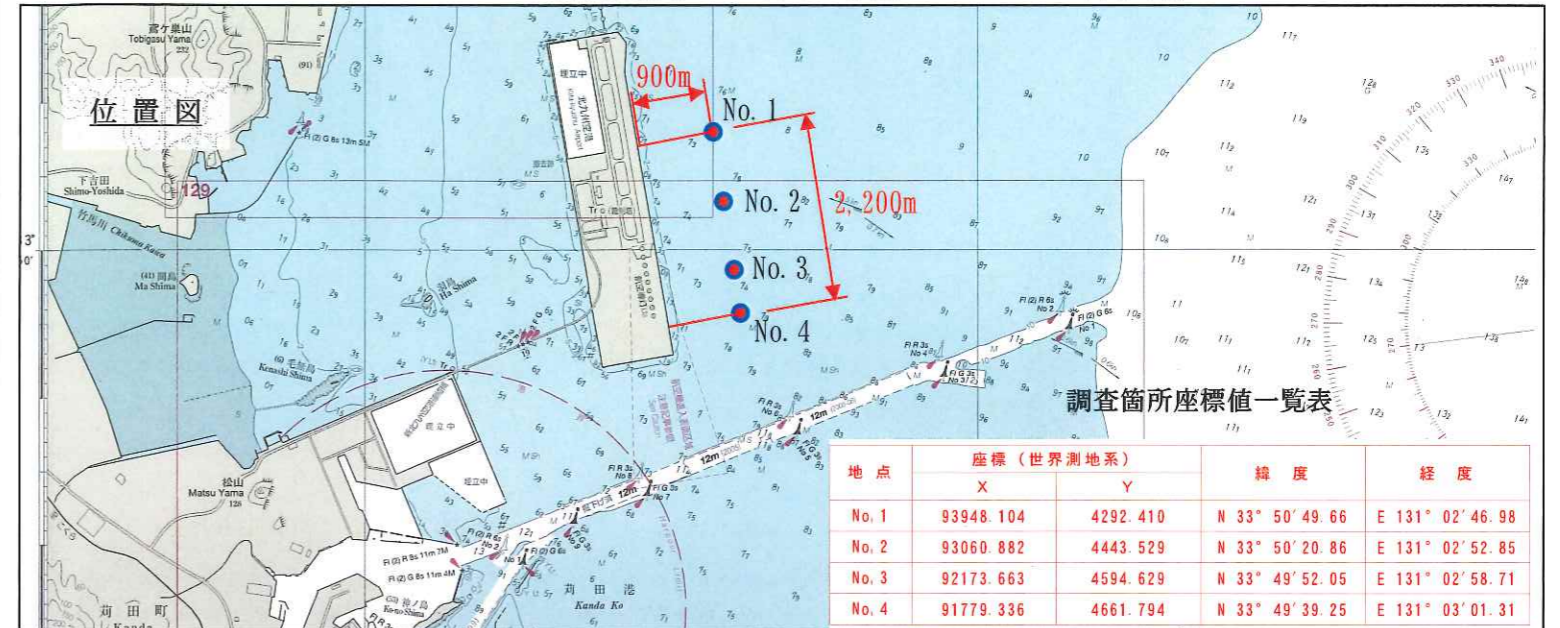
スパット台船には赤旗を掲揚し、夜間においては 4 隅には黄色の標識(4 秒 1 閃光、光達距離 6.0km)を設置します。

5. 船舶航行上の注意

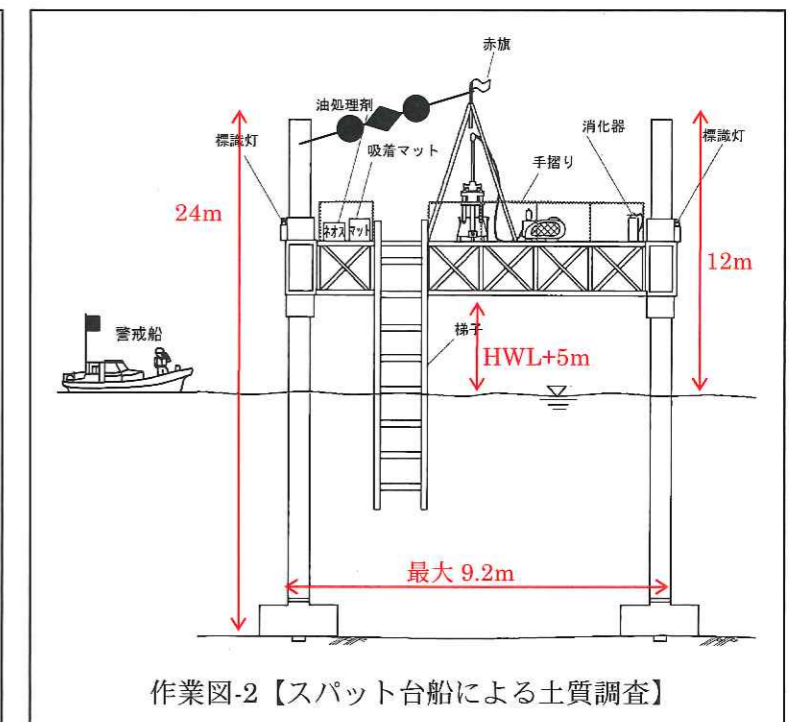
調査中は、警戒船を配備し、周囲の航行船舶に十分注意します。
 また、スパット台船設置中はアンカーを使用しますが、設置後はアンカーを回収します。
 なお、気象条件悪化によりスパット台船を調査海域から退避する場合は、潜水士によりケーシングパイプを切離し、(作業図-3 参照) 海底より 1m 未満突出させ、ブイ(標識灯)を設置し明示します。(作業図-4 参照)

6. その他

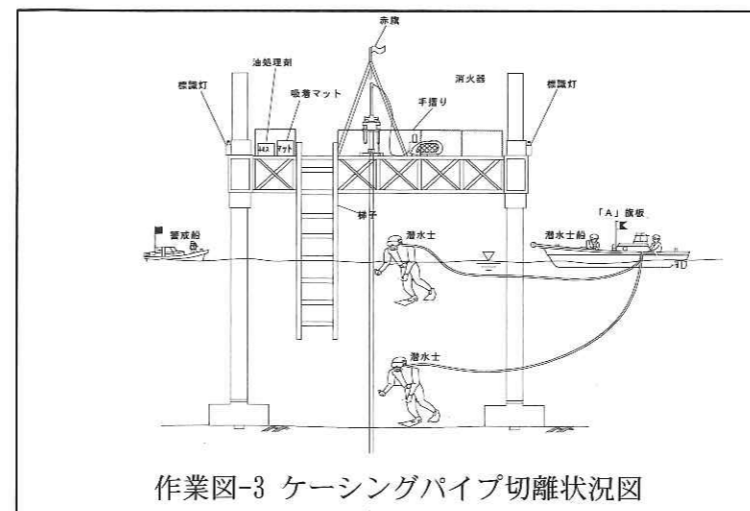
本作業について不明な点がございましたら、上記関係先にお問い合わせください。



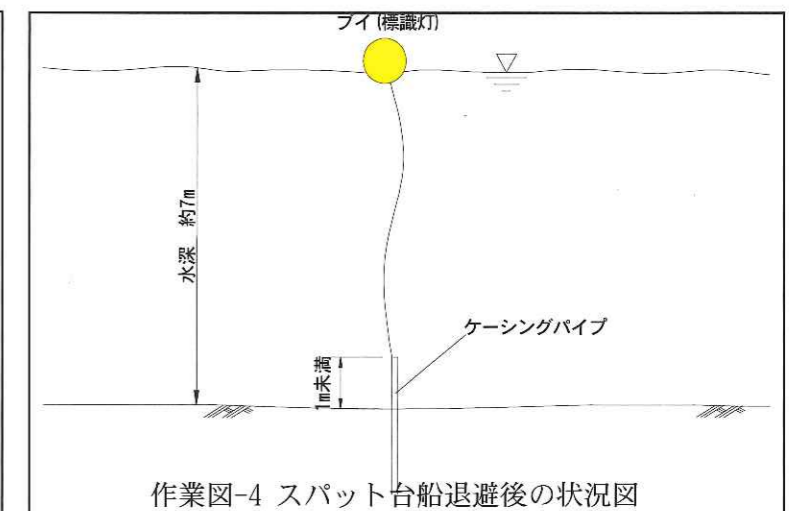
作業図-1【簡易磁気探査】



作業図-2【スパット台船による土質調査】



作業図-3 ケーシングパイプ切離状況図



作業図-4 スパット台船退避後の状況図